平成26年度 母親委員会運営委員会 報告

市P連会長 奥村 昇次

母親委員長 西 智恵子

市P連の母親委員会運営委員会では、市内の小中学校53校から、母親代表として各校1～2名参加していただき、4回の会合を行ってきました。会合を通し、子どもたちの健全育成のため、今、親として何ができるかを講演会・グループ討議などで意見交換しながら学んできました。

平成26年度は、特に「ケータイ・スマホを知り、どう付き合っていくか」に重きを置き、活動して参りました。これらの機器は使い方一つで、役に立つ道具にもなりますが、大きなトラブルに発展し、子どもたちを危険に巻き込んだりもします。

今回、私たちが学習し、意見交換会やアンケートで出された内容をまとめ、報告させていただきます。

「親としてすべきこと」

- ◎ 子どもにケータイ・スマホを与える前に、いま一度、本当に必要か考えてみる。
- ◎ 親は契約者として責任を持って管理し、使い方や危険性を自ら勉強し、情報収集に努める。
- ◎ 親が一方的に押し付けるのではなく、親子で話し合っ「我が家のルール」を作る。話し合うことによって良好な親子関係が作れる。

「我が家のルール」の作り方

① マナー	例：公共施設内、歩きスマホ禁止・食事中、部屋への持込の制限
② 時間管理	例：〇時以降は利用しない（21時ごろが良いのでは）
③ 金銭感覚	例：有料サイトは親の許可をとる・毎月の利用額を親子で確認
④ コミュニケーション	例：悪口を書かない、読み返してから送る・大切な事は会って伝える
⑤ 法律	例：損害賠償請求される様な無責任な投稿をしない・著作権問題等
⑥ 自己防衛	例：フィルタリング、ウイルス対策をする・個人情報を書かない
⑦ 役割・責任	例：やるべき事（勉強や手伝い）を優先

以上、それぞれの家庭事情や親子関係に合わせて、参考にしてみてください。より多くの親子が、持つ前に話し合う、すでに使っている人は見直すきっかけになって欲しいと思います。

春日井市や学校で、共通のルール作りをして欲しいという皆様からのご意見も一部ありましたが、この1年では、他の機関と連携してアピールするまでには至りませんでした。

この報告文を全小中学校で見ていただくことにより、共通の認識を持ち、子どもの健全な育成に役立ててもらえれば、と強く願います。

なお、子どもや親がこの問題について、勉強できる機会を持てるよう、市P連活動と共に、今後も市や学校側と連携を図っていくつもりです。1年間、皆様のご理解、ご協力を頂いたことに対し心から感謝致します。